

平成28年1月25日発行
 発行／宇佐市議会
 直通：0978-32-2328
 Fax：0978-32-1437



初詣 宇佐神宮は、伊勢神宮に次ぐ「第二の宗廟（そうびょう）」といわれる、全国八幡社の総本宮です。今年の正月三箇日は、好天にも恵まれ、大勢の初詣客で賑わいました。神宮周辺は、平成25年度から実施されていた「街なみ環境整備事業」により、昨年9月27日に横町通りの無電柱化と道路美装化が完成しました。宇佐市議会では、昨年9月定例会において「宇佐神宮・国東半島の日本遺産を目指す決議」を可決しています。私たちの生活の中に息づいている伝統行事や永年守られてきた文化的景観など、歴史的環境を未来永劫大切に保全していきたいものです。 ※「宗廟」とは、祖先を祀る場所のこと

12月定例会

- 平成27年度一般会計・特別会計補正予算ほか22議案を可決、同意
- 平成26年度一般会計・特別会計決算9議案を認定

《	新年のごあいさつ……………	P.2～3
目	12月定例会の審議結果……………	P.4～5
次	一般質問……………	P.5～12
《	研修報告……………	P.12

議会ホームページ

<http://www.city.usa.oita.jp/site/gikai/>

宇佐市議会 検索



新年のごあいさつ

議長
中島孝行

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様には、希望に満ちた新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

私ども市議会は、昨年4月の改選から、新たな24人の体制でスタートしました。現在、全国の多くの自治体では少子・高齢化に伴う人口減少問題への対応が喫緊の課題となり、それぞれが実情に合った地方創生戦略を練りあげ、「雇用の創出」、「結婚・出産・子育て支援」などの政策を積極的に推し進めていかなければなりません。

私どもは、議会という重要な市政の最終議決機関を構成する議員としての役割と責任を自覚し、市政の更なる発展と安全で安心な暮らし、魅力あるまちづくりの実現に向けて、議員一同、日々邁進する所存でございます。

今後とも一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

副議長
衛藤正明

新年、明けましておめでとうございませう。開かれた、透明性の高い議会を目指すとともに、市民の皆様方誰もが、安心して暮らせる、住みよい、活力のある宇佐市を目指して、議員の使命を忘れることなく、一生懸命取り組んでまいりますので宜しくお願いします。結びに、市民の皆様方のご繁栄とご多幸を祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

議員より一言



中本 毅

昨年は大変お世話になり誠に有難うございました。本年も、皆様のより良いお暮らしのため、青年が挑んでまいります。「住民の声を市政へ」、この信念を貫いて存分に働いてまいります。変わらぬご支援・お付き合いをお願い申し上げます。



川谷 光紹

『報恩感謝』旧年中は、私のあずかり知らぬところで、御恩をいただく日々を過ごさせていただきました。恩を返すことはできず、ただただ謝するのみですが、議会のなかで辛いを幸せに変える一本の棒となれるよう、尽くしてまいります。



和氣 伸哉

新年、明けましておめでとうございませう。新しい三六五日がスタートいたしました。「一年の計は元旦にあり」というように、良いスタートを市民の皆様と共に踏み出して行きたいと思ひます。本年も宜しくお願い致します。



多田 羅純一

新年のお慶びを申し上げます。昨年は大変多くの方々にご支援いただき、本当に有難うございました。「夢をあたりに」できるよう、勤労者目線で全力を尽くして参ります。



後藤 竜也

新たな年を迎え、身が引き締まる思いです。皆様の思いをカタチにするべく努力致します。郷土の発展を第一義に考え、初心を大切に、剛毅果断に行動して参ります。本年も宜しくお願い致します。



衛藤 義弘

新年あけましておめでとうございませう。ご支援・ご協力に対し、感謝と御

礼を申し上げます。「あなたの声をかたちに」をモットーに、宇佐の天地を走り回ってききました。今後も諸問題に対し、誠心誠意働いてまいります。



河野 康臣

二〇〇八年をピークに日本人は人口減少社会に入りました。二〇四〇年には、一八〇〇ある自治体の過半数が消滅すると言われています。一年、一年が勝負の年です。全市民の英知を結集して消滅に抗する宇佐市づくりに頑張ります。



井本 裕明

新年、あけましておめでとうございませう。市民の皆様方に於かれましても良い年をお迎えのことと存じます。未来を担う宇佐っ子が誇れる町を目指して頑張ります。ご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



辛島 光司

新春のお慶びを申し上げます。来るべき新たな年を迎え、新たな未来への責務に身が引き締まる思いです。皆様健康で、より多くの笑顔溢れる「ふるさと宇佐市」を目指して「宇佐市再生」に全力で取り組んでまいります。



今石靖代

だれの子も戦場へ送らない。「戦争法」を廃止し、平和主義、立憲主義を取り戻すまで、全力で頑張ります。「戦車に乗るなら三輪車」、「鉄砲持つなら水鉄砲」安保法に反対するママの会のコールに賛同します。



新開洋一

明けましておめでとうございます。皆様にとりまして、本年がより一層素晴らしい年となりますよう祈念申し上げます。皆様からの苦言、提言をいただきながら、より住みやすい宇佐市づくりに向けて頑張ります。



林 寛

迎春 皆様にごえていただいた立場に改めて感謝申し上げます。これから地方の時代となります。国策の地方創生の取り組みの中、特に周辺部対策に力点を置いて懸命に取り組めます。愛郷無限の心で頑張ります。



用松律夫

本年も変わらぬご教示を賜りますようお願い申し上げます。平和も私たち

の暮らしも危機的な状況が生まれようとしています。党派の違いを超え立憲主義を取り戻し、戦争できる国にしないため全力で頑張ります。



大隈尚人

新春のお慶びを申し上げます。5度の負託をいただいたことに感謝し、「現在そして未来に夢と希望が持てる市民生活の実現」に向かって、今後も初心を忘れず邁進していく所存です。本年も皆様にとってよい年でありますよう祈念致します。



佐田則昭

謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年は、荒廃ぶどう園の再造成事業に全力で取り組み、宇佐市の活性化に努めてまいります。本年も皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



高橋宜宏

明けましておめでとうございます。馬齢を重ねると、ややもすると初心を忘れ、当所の目的を見失うものです。これからも「日に新たに」の気持ちを忘れず、「近きもの喜び、遠き者来る」

まちづくりのための提言を続けていきたいと思っています。



中村明美

4年ぶりに復帰し、議会と市政の対応の変貌振りに当惑しています。

新年にあたり市民の声はもとより、これからの市民の在り方の提言を、女性の目線にも立ちながら、はばかることなく議論していきたいと気持ちを新たにしています。



筈口 孝

迎春。国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を謳った「日本国憲法」に守られた私たちの社会が、今、立憲主義も否定する最も危険な方向へ。人口減少のなか「何が正しく、何をなすべきなのか」を見定めたいと思います。



永松 郁

本年は申年。「縁(猿)起」のよい年になると言われています。合併十年が過ぎ、様々な諸課題も生じています。本年も、自らを見直し、本当に守るべきは何かを真剣に議論してまいる所存です。



斉藤文博

今年は申年。日光東照宮に「見ざる・言わざる・聞かざる」という有名なサル彫り物があります。人生論から考えると、どこか協調できる部分もあるが、議員としては「見て・聞いて・ものを言う」一年にしたいと思っています。



浜永義機

マックスウェーバーの『職業としての政治』という本の中に、「政治とは情熱と判断力の二つを駆使しながら堅い板に力を込めてじわじわと穴をくり貫いていく作業」とあります。私も地道にコツコツと努力して頑張ります。



衛藤博幸

漢字一字は「安」、安全保障、安心・安全に対する国民の関心の深さを感じられます。「当り前」という言葉の語源は、「共同で収穫や狩りをした時の一人の取り分」だそうです。水空気が、安心安全も当たり前に感じますが、当り前の役割を果たすことも大事です。

平成27年12月第5回定例会議決結果一覧表

○議 案

番 号	件 名	付託委員会	結 果
議第102号	平成27年度宇佐市一般会計補正予算（第4号）	各常任委員会	原案可決
議第103号	平成27年度宇佐市介護保険特別会計補正予算（第3号）	文教福祉	〃
議第104号	平成27年度宇佐市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	産業建設	〃
議第105号	平成27年度宇佐市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	〃	〃
議第106号	平成27年度宇佐市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	〃	〃
議第107号	平成27年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	〃	〃
議第108号	平成27年度宇佐市介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）	文教福祉	〃
議第109号	平成27年度宇佐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	〃	〃
議第110号	宇佐市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定	総 務	〃
議第111号	宇佐市職員の給与に関する条例の一部改正	〃	〃
議第112号	宇佐市職員の退職手当に関する条例の一部改正	〃	〃
議第113号	宇佐市税条例等の一部改正	〃	〃
議第114号	宇佐市国民健康保険条例の一部改正	文教福祉	〃
議第115号	道の駅「いんない」条例の一部改正	産業建設	〃
議第116号	市道路線の認定	〃	〃
議第117号	工事請負契約の変更	〃	〃
議第118号	市有財産の無償譲渡	〃	〃
議第119号	指定管理者の指定（安心院児童館）	文教福祉	〃
議第120号	指定管理者の指定（安心院老人デイ・サービスセンター）	〃	〃
議第121号	指定管理者の指定（院内老人デイ・サービスセンター）	〃	〃
議第122号	指定管理者の指定（道の駅「いんない」）	産業建設	〃
議第123号	宇佐市固定資産評価審査委員会委員の選任	省 略	原案同意

○請 願

番 号	件 名	付託委員会	結 果
請願第7号	農業と食の安全、国民の医療を守るためＴＰＰ大筋合意からの撤退を求める意見書の提出に関する請願	産業建設	継続審査

○閉会中の継続審査となっていた議案の審議結果

番 号	件 名	付託委員会	結 果
議第90号	平成26年度宇佐市一般会計歳入歳出決算の認定	決算特別	原案認定
議第91号	平成26年度宇佐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	文教福祉	〃
議第92号	平成26年度宇佐市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	〃	〃
議第93号	平成26年度宇佐市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	産業建設	〃
議第94号	平成26年度宇佐市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	〃	〃
議第95号	平成26年度宇佐市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	〃	〃
議第96号	平成26年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	〃	〃
議第97号	平成26年度宇佐市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定	文教福祉	〃
議第98号	平成26年度宇佐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	〃	〃

○閉会中の継続審査となっていた請願の審議結果

番 号	件 名	付託委員会	結 果
請願第4号	日本を「海外で戦争する国」にする「戦争法案」は廃案にするよう国へ求める請願書	総 務	不採択

○全会一致でなかった議案の採決結果

議案番号	議員氏名 議案名	中本	川谷	和氣	多田	後藤	衛藤	河野	井本	辛島	今石	新開	林	用松	大隈	衛藤	佐田	高橋	中村	釜口	永松	齊藤	浜永	衛藤	中島
90号	平成26年度宇佐市一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
91号	平成26年度宇佐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
92号	平成26年度宇佐市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
93号	平成26年度宇佐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
102号	平成27年度宇佐市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
110号	宇佐市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
111号	宇佐市職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
113号	宇佐市税条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
114号	宇佐市国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成=○ 反対=× 欠席=欠

議長につき表決なし

宇佐神宮周辺の景観、まちづくりは

問① 宇佐神宮周辺の景観、まちづくりの経過、横町通りの無電柱化と道路美装化の反応は。

答 神宮周辺は、歴史的・文化的町並みの残る市の観光交流拠点として最も重要な地域で、地域住民による推進協議会を立ち上げ、勉強会や現地調査、魅力や問題点を洗い出し、官民一体で計画策定した。特に道路美装化は、協議会の皆様と現地で実寸大の資料の試験張りを行って選定し、無電柱化と道路美装化が完成した。今後は、小山田邸跡地の公園化と市道生代線と寄藻川沿いの堤防にプロムナードの設計をして神宮周辺から整備し、事業効果を上げながら勅使街道へと事業展開していきたい。平成31年までに完成したい。

問② 地域の伝統文化の振興、継承について。

答 宇佐市青年農業者会議に対しても支援・助成を行い、農業集団活動の促進を図り、地域農業の活性化につなげたい。

(2) ブランド商品の販路について、今後の取り組みは。

答 市場が大きく関税や規制面で輸出に取り組みやすい香港市場をターゲットとして、実際の商談成立までフォローできるような支援を検討したい。



井本裕明（照政会）

(1) 現在継承し活動を行っている団体の数は。

答 特に学術的に優れていると判断された伝統的文化は、無形文化財や無形民俗文化財に指定することで保護し、支援を行っている。文化財として継承されているものは、宇佐神宮御神能など6件あり、また文化財愛護少年団が2件、神楽の保存団体が2件ある。

(2) 近年継承できなくなった団体の理由は。

答 少子高齢化による後継者や指導者の不足が理由で、今後は今いる指導者に声掛けし復興を考えたい。

問③ TPPを踏まえた宇佐市の農業振興について。

(1) 農業後継者との連携や取り組みは。

答 宇佐市青年農業者会議に対しても支援・助成を行い、農業集団活動の促進を図り、地域農業の活性化につなげたい。

多子世帯の保育料、大幅に負担軽減！

答 介護従事者の確保・育成・定着の推進のため、財政処置の拡充など、全国市長会を通じて

問③ 介護士と保育士の確保について、今後の取り組みは。

答 今年度は小学校を中心に「いのちの誕生や生きることの素晴らしさ」を伝えていただいた。今後は、中学・高校生にも広げたい。

問② 「いのちを伝える応援団」の活動範囲を思春期である中学・高校生に広げてはどうか。

答 『大分にここに保育支援事業』の範囲外となる3歳から就学前まで、上の子の年齢に関係なく、第2子半額、第3子無料を拡大する方向で検討している。

問① 「少子化、待ったなし！」求め続けてきた多子世帯の経済的負担軽減策、来年度の実施に向けて検討している施策は。



辛島光司（照政会）

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載しております。詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。



国に要請している。保育士の確保については、人件費の一部を助成する「保育士等の確保対策事業」を計画していく。

問④ 幹線道路や通学路においては、安全面や観光ルートの重要度が高い箇所は、草刈りの回数を増やすべきではないか。

答 幹線道路を中心に年2回の草刈りを行っている。時期・範囲・回数などを見直し、検討していく。

問⑤ 水害に備える河川の改修が必要とされている。水害による災害予想地域は。

答 寄藻川下流の北鶴田新田地区と蜷木・青森地区、向野川下流の岩崎地区、駅館川の拝田橋護岸の下拝田地区の4箇所ある。県に対し水害に備えた河川整備を要望していく。

子育て支援に祝金と保育料減免を

答 使用時間の多い生徒ほど正答率は低くなる傾向にあり、過

問③ スマートフォンによる学力低下と睡眠不足の対策は。

答 見え難いものがあるため、アンケートや個人面接を定期的に行い、校内の対策委員会を定期的に開催し防止していく。

問② 大人の目に付きにくい時間や場所、遊びやふざけあい、ラインなどのSNSでの言葉のいじめなど、判断しにくい形で行われている。その対策は。

答 市内すべての小・中学校で方針を策定し、教職員・心理士等専門的な知識を有する方で構成する組織を設置している。

問① いじめ防止対策と携帯使用について。

答 「学校いじめ防止基本方針」の策定と「防止対策組織」の設置は。



衛藤義弘（公明党）

度の使用により睡眠時間の減少や規則正しい生活の乱れ、友人関係の阻害等の影響が大きいと分析しており、学校・PTAと連携を強化し情報発信し指導していく。

問④ 実態調査のため児童生徒向けにアンケートを実施しては。

答 市全体としてルールを決め、問題提起し連携していく。

問② ひきこもり実態と支援は。

答 200人程度いる。自立相談支援で対象者の特性や背景・要因を把握し、状況に応じた支援を行っている。

問③ 高齢者・障がい者にやさしいまちづくりのため、社会福祉協議会の重要性は増している。規模拡大と専門職の確保を。

答 社協の運営もある。今後とも問題解決に協議を重ねていく。

問④ 子育て支援として、経済的負担軽減のため、第3子以上に応援補助金や保育料の一部免除の助成を設けたらどうか。

答 28年度予算に「すくすく子育て祝金」を検討。出産時、小学校と中学校入学時に祝金を支給する。「多子世帯保育料軽減」で、第2子保育料を半額、第3子保育料を無料とする大幅な拡充を計画している。

地域の魅力で市の発展を



川谷光紹（愁山会）

問① 観光について。

(1) 全国門前町サミットin宇佐に対する評価は。また、6次産品や観光の売込み、子どもたちが地域の歴史・文化について学ぶ機会としての今後の参加は。

答 県内外18市町村の自治体関係者の参加により、各自治体の取組みや課題等について有意義な意見交換ができた。また、各団体が連携して開催の準備をする中で、住民が主体となった取組みのきっかけになった。今後自治体間交流に併せて、農業・6次産品の物産と観光を売込むためにも参加していきたい。

(2) 観光と生活環境の両面から、路面清掃車を導入しては。

答 すでに導入している他市町村の運営方法などの実態を調査研究していきたい。

(3) 四日市ICへの案内も含め

て、宇佐IC付近に観光の看板を設置してはどうか。

答 大分県屋外広告物条例により、設置は難しい。四日市ICの補助標識の設置については、ネクスコ西日本のホームページ等へ、市民の皆さん一人ひとりから要望を出した方が改善しやすいと思われる。

問② 子育て支援について。

(1) こどもっと！ランドinうさの評価と今後は。

答 3千人を超える来場者があった。子育て支援に関わる団体同士の協力体制が醸成できた。来年度の開催については、課題や問題点を協議したい。

(2) 放課後児童クラブは今の施策のままで十分か。

答 支援員の研修機会の確保、地域や学校との連携、新たな基準に適用した施設など、満足の得られるように努める。

問③ 地域の方々が主体的に市道沿いの草刈り等に取組めるよう、市として協力できないか。

答 今後も地域の方々との協働により、生活道路の環境美化や安全確保に努める。

問④ 同窓会を利用したUターン政策は。

答 有効手段として調査する。

市政一般に対する質問

緊急通報システムの普及を



今石靖代（共産党）

問① 高齢者の見守りについて。

(1) 宇佐市の65歳以上の世帯は約9千件あり、うち一人暮らしが5,366人。緊急通報システムの普及は進んでいるか。

答 今年度から800円の月額利用料が、非課税世帯は無料になった。61台増え、316台設置となり、普及は進みつつある。

(2) 民生委員だけでなく、ケアマネや区長など関係者にさらに周知をしたり手続きの簡素化を。さらに努力する。

問② 生活保護行政について。

(1) 大分市、別府市、臼杵市のように、保険証に代わる「診療依頼証」を発行できないか。

答 他市の状況を検討する。

(2) 肺炎球菌ワクチンや、緊急通報システムなど制度の周知を。

答 ケースワーカーが、今後もきめ細かにやっていく。

問③ 教職員の多忙化について、(1) 教職員の過労が社会問題になっている。現状と改善策は。

答 多忙化や時間外勤務等の実態があり、「ノー残業デー」を設定し見直しを進めている。来年度より「校務支援ソフト」を全ての小中学校に整備し、効率的な事務環境整備を進める予定。

(2) 土曜授業の多忙化解消は。

答 3学期の検討委員会で意見を聞き、来年度の調整をする。

問④ 昨年「小規模企業振興基本法」が成立し、5人以下の小規模企業への支援が義務化された。実態調査し、支援の強化策を。

答 今後とも国・県の施策を注視し、地方経済の根幹を担う小規模事業所の育成支援に努める。

問⑤ フットパスへの関心が高まり各地で整備が進められている。健康づくりやまちづくりの観点から積極的な取り組みを。

答 安心院の「イモリ谷」や「寒水」でフットパスが実施されている。韓国発祥のオルレなどは外国人の利用も見込まれることから、インバウンド対策という観点からも市民団体等の取り組みを支援していきたい。

「わたり」問題の説明と謝罪を！

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載しております。詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。



高橋宜宏（至誠会）

問① 6月定例会の一般質問で、「本年4月1日から、職員の級別構成の見直しや級別の標準職務分類表を見直すことにより、職務と職責に応じた給料の格付けを行い、『わたり』は解消している」と答弁。ところが、県は去る10月、県内18市町村の職員や諸手当の支給状況を公表。職員に実際の職級以上の給与を支給する「わたり」が今年4月時点で大分、別府、宇佐、由布の4市で続いていることを公表。結果的に「ウソ」の答弁となった。齟齬が生じた説明と謝罪を求めたい。

答 6月定例会での答弁に齟齬が生じたことについて、改めてお詫び申し上げる。職位基準について国との解釈の違いがあったと考えている。この指摘を真摯に受け止め、来年4月1日か

ら完全に解消することにする。
問② 「わたり」は全国の自治体で何か所残っているのか。全体の何%に当たるのか。

答 平成26年4月1日現在で、全国1,789自治体中51団体に残っている。割合は2.9%。

問③ 「職員組合」に嫌われながらも、異常に高かったラス指数の抑制、職員の削減を中心とした定員管理問題、特別職と議員の報酬アップ議案を取り下げさせたことも。また、28歳以上の市職員の定昇を1年間停止させ、1億円の節約をさせたこともある。さらに、内規で決めていた定年時、「退職金の特別加算」を止めさせたりもした。実は、この「わたり」問題は永年議会で指摘してきたものだが、最後の2.9%の自治体の中に残ったということは残念。ところで、住居手当のうち、自宅から通っている人には必要ないはず。全国市区町村の約8割がすでにこの制度を廃止。早急に廃止してもらいたい。

答 宇佐市の住宅事情は相変わらず、依然として持ち家比率が高い。また、県下も大抵の自治体が支給している状態。（だから早急な廃止は難しい）

子育て支援拡充について



多田羅純一（市民連合）

問① 隣市では、子ども医療費無料化（通院医療費助成）について検討していく方針を示したが、宇佐市の見解は。

答 小児科医医療体制を守り、近隣市や医師会と協議を重ね、医療機関の負担を増やさないような制度設計が重要であり、現時点での対象拡大は困難。

問② 安易な受診の対策は検討されているか。

答 かかりつけ医を持つ事や「大分子ども緊急電話相談」の利用についての説明や保健師のミニ講和等で啓発する。

問③ 小学生へのインフルエンザ任意接種助成拡大、無料化は検討できないか。

答 国の予防接種制度の改正、県の助成事業の取組みがなされた段階で、他市状況を見ながら考える。

問④ 学生の奨学金制度について、市独自の奨学金返還支援はできないか。

答 九州市長会において、奨学生の負担とならないよう、成績条件を緩和し、無利子貸付枠の拡充を要望しているところである。

問⑤ TPPについて、米農家が不安に捉えている。打撃を受けると思うが、市の取り組みは。

答 大筋合意内容のうち、米についてはこれまでの基本的な輸入の枠組みは変更せず、関税撤廃の例外や現行の国家貿易制度を維持するとしSBS方式、買売同時入札枠を設定する事としており、国の施策が確実に実施されるよう、TPP対策の進展を注視し、農業現場に混乱を招かないように対応を図る。

問⑥ うさし子育て応援企業認証制度事業のイメージキャラクターやロゴは検討してもらえないか。

答 効果的に制度の周知ができると思われるので、今後、調査研究していきたい。

高齢者にスマートフォンを



和気伸哉（桜和会）

問① 今年度「移住しやすい街」の特集で三ツ星がついたが、どのように取り組むか。

答 移住支援について、定住支援員2名の雇用、県外Uイターナー者への補助金の創設、空き屋改修補助事業の拡充など、他の自治体と比較してもトップレベルの内容となっている。

問② 残念なことに、本市のホームページはまだスマートフォン版の表示形式が未対応である。すぐにでも改善すべきだが。

答 ホームページ向上委員会で検証し、早期に対応したい。

問③ 今年は大規模なイベントが行われ、盛り上がったが、一方でイベントを知らなかった人もいた。今後の周知方法の改善は。

答 情報の発信時期や活用媒体

に留意しながら、より効果的な周知に努めてまいりたい。

問④ 防災無線が聞こえないとよく聞く、安心院町のように全戸に配置すれば多額の予算が必要となるが、今後の市の考えは。

答 今後、防災無線システムのデジタル化の整備計画の中で調査・研究を行う。

問⑤ 生活習慣病4大疾病の占める割合、医療費の疾病別状況年代別の医療費、受診率等は。

答 どれも健康づくりを実施し始めた24年度の翌年25年度から徐々に下がっており、今後も受診率の向上、健康の増進に努める。

問⑥ 現在までのふるさと納税の結果、また、今後の対応は。

答 今年度は652件で17,594千円。今後は更なる寄付者の獲得に努める。

問⑦ 現在、高齢者への見守り体制が機能されているか。

答 「高齢者安心ネットワーク」を構築し、圏域の地域包括支援センターを中心に一定程度機能していると考えている。

問⑧ 問②と⑦は、全てスマートフォンを活用して便利で安価に計画が練れると思うが。

答 今後、調査研究してみたい。

米のブランド化について



大隈尚人（市民連合）

問① 医療費について、24年度に比べて25年度は医療費が2億円くらい下がったが、その後また元に戻っている。下がったことについてどのように捉えているか。

答 下がった要因は、高血圧症、腎不全等の健康づくり対策によるものと、統合失調症、白血病等々の一時的な特殊要因によるものがあると思われる。元に戻ったのは、一時的な特殊要因が無くなったのではないかと考えている。

問② 高齢者と幼児の保護者への食育指導は。

答 両者に向けての食育マニュアルはないが、今後、チラシやパンフレットを作成し様々な機会を通して指導していきたい。

問③ 地籍調査について、今後も従来の予算規模で行っていく

のか。

答 今後とも計画に基づき着実に実施していきたい。

問④ 宇佐米のブランド化について、赤尾地域のほか、味に定評のある地域で生産されている米については、地域限定のブランド化を進め、付加価値を高めようか。

答 今後も農協等関係機関との連携を密にし、ブランド米の育成を図るとともに商標登録も視野に取り組んでいきたい。

問⑤ 地方創生の交付金は、宇佐市にどれくらいの配分があるのか。

答 小さな拠点づくりと移住促進事業の交付額が1,525万3千円であり、その他に高校生短期留学事業等の5件で1,000万円の交付額となっている。

問⑥ 高齢者の運転免許返還に伴う代替の交通手段は。

答 今後も調査や協議を積極的に行い、日常生活に支障のない形となるよう考えている。

小児医療の不安解消を



斉藤 文博（市民連合）

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載しております。詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

問① 中津市民病院小児科外来で診療受付変更のお知らせがあり、保護者に不安が広がったが、

答 12月1日から外来患者の初診の際に地域医療機関の紹介状を必要としたもので、この対象は平日昼間の外来に限られている。休日や夜間の小児科外来と救急医療については、平成21年度に中津市との間で締結した定住自立圏形成協定に基づき、市民病院小児救急センターで、これまでどおり紹介状なしで対応してもらえ。

問② 骨髄移植について。

(1) 大分県の現状は。

答 白血病や再生不良性貧血等の難病の患者に、提供者の正常な骨髄細胞を静脈内に注入移植する治療法で、提供者のドナー登録、提供幹旋事業を公益財団法人「日本骨髄バンク」が主体

となり、日本赤十字社と県の協力で行われている。県内の移植数は平成16年から12年間の累計で患者240人、提供者184人となっている。

(2) 自治体の支援状況は。

答 提供者や提供者が勤める事業所に助成金を出すもので、現在、全国で154の市町村で実施されており、県内では大分市と中津市が行っている。

(3) 今後、宇佐市も取り組むべきではないか。

答 提供者は1週間程度の入院が必要。免疫的に適合する方が見つかったも、経済的に1週間の休みが取れず断念する例があると聞く。ドナー登録の普及啓発とともに、提供者の経済的負担を軽減するため、先進事例を参考に前向きに検討する。

問③ 三和酒類スポーツセンター（旧かんぽの郷体育館）の今後の整備計画は。

答 屋内競技の競技フロア照明の照度確保や自然光遮断など、競技種目で基準が大きく異なる。基本的には整備する必要があると考えている。最近協議によつてフロアマットを設置する方法があると聞く。関係機関と適宜協議していく。

放課後チャレンジ教室を全市へ



中本 毅（知新会）

問① 公民館や小学校の教室等を活用して安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子供たちが学習や体験活動、地域の方々との交流などに取り組む「放課後チャレンジ教室」は、市の周辺部で取り組みが先行。児童の参加割合も高く好評である。中心部の方々から全学的な展開を望む声を聞く。

答 実施状況は6校区9教室。体験活動の教室を拡充したい。県方針は100%実施。

問② 住民の方から「市に平和ミュージアムが建設されるが、関係者は、必ず先に知覧を見てきて」とのご意見いただいた。そこで特攻平和会館を見学してきた。たくさん遺書・手紙を見て涙が止まらなかった。現代とは価値観の異なる部分もある

が、当時の人々がどれだけ真摯に、誠実に物事に向き合っていたのか。学ぶことは多い。

答 平成32年度開館を目指す。戦争体験者の証言、遺書・手紙などの遺物を含めた貴重な資料をもとに、「平和の大切さと命の尊さ」について考える機会とする。

問③ 映画『カラアゲ☆USA』は、どのような意義があったか。

答 制作過程で述べ1,000人以上の方が関わり、交流が生まれ、連帯感が強まった。映画が共有財産になり、地域に対して市民が誇りを持てた。「からあげ専門店発祥の地宇佐」の周知拡大に絶大な効果をもたらした。本市の情報発信、観光まちづくりに大きく貢献。動員数累計は13,423名。

問④ 「公共施設の住民意識アンケート」、公共スポーツジムを望む声が多い。

答 新設検討が必要。

＜その他＞ **問⑤** 豊川小学校区をはじめ市内の通学路について。 **問⑥** 観光振興を目的とする外国語標識・表示の導入促進について。 **問⑦** 「論理的思考力」や「問題解決力」を育てる学習・教育について（9月定例会の続き）

若者の貧困対策を



河野康臣（市民連合）

問① ICT教育の功罪は。

答 日進月歩する情報化社会の中で重要性を増す。一方で情報モラルの保持が課題である。

問② 授業でのiPad活用の今後の展開は。

答 すでに本市では小学校2校、中学校2校が先行活用している。今後、子ども同士の双方向通信が可能であり、特別支援教育にも威力を発揮する。ICT環境の整備を進めたい。

問③ 障がい者などの入浴は。

答 通所の方は施設での入浴サービスを受けている。

問④ 災害時での訪問入浴サービスは必要ないか。

答 福祉施設と福祉避難所での入浴サービスを利用させてもらう契約を結んでいる。

問⑤ 伊方原発事故の想定は。

答 風向きによっては、放射性

物質が流れてくる可能性がある。屋内待機が最も有効。

問⑥ 避難計画策定の時期は。

答 避難計画の策定の予定はないが、放射性降下物のモニタリングを行い、情報提供や屋内退避を勧告する。

問⑦ はちまんの郷の草刈りは。除草・剪定作業を徹底したい。

問⑧ 行政区の現状認識は。

答 世帯数の減少により地域のコミュニティ活動の保持が困難になっている。

問⑨ 行政区再編が必要では。行政区の再編については、

各地区の自主性に委ねざるを得ない状況である。

問⑩ 奨学金返済で苦しむ若者の生活実態の認識は。

答 雇用情勢の悪化から3か月以上滞納者が342万人。滞納額は925億円となっている。

問⑪ 本市に定住する若者の困窮への何らかの支援はできないか。

答 生活困窮者には自立支援法に基づき、具体的な支援プランを作る。就労に向けてはハローワークと同行支援などを行う。

教育、都市計画等に関して



後藤竜也（政友会）

問① モンスターペアレンツ対策と、今後の取組みについて、

宇佐市はどのように考えているのか。対応マニュアルを作るなど、具体的な対策をとるべきではないか。

答 人々の価値観が多様化する中で、保護者や地域の方々の学校に対する期待が大きくなり、学校に寄せられる要求や苦情が多様化してきている。その結果、学校だけでは解決困難な問題への発展する場合もある。保護者等との信頼関係の構築に努めるとともに、具体的な対策についても調査研究し、研修を行うなど、前向きに進めていきたい。

問② 上坪田・柳ヶ浦線沿線は以前より農振除外や用途地区の変更についての請願が出され、大いに議論されてきたが、ようやく全線開通の目途が立った。

今後の宇佐市の街づくりを考える上でも、市としての姿勢を明確に示し、具体的に計画を立てていくべきではないか。

答 農業振興地域整備計画の下、農地の保全、形成、近代化のための各種施策が計画的に行われてきた地域であり、将来の都市構想に於いても慎重にならざるを得ない。今後の柳ヶ浦駅周辺整備計画を鑑みながら、将来の街づくりについて、慎重に議論し、調整を図っていきたい。

問③ はちまんの郷について、近い将来、施設のリニューアルが不可欠と思うが、具体的な計画はあるか。また、200名以上の収容が可能な多目的ホールを設置すべきではないか。

答 具体的な計画はないが、築年数を考えると、再整備の必要性は高まっているものと考えている。今後、スポーツ、レジャー施設を兼ね備えた宿泊施設として、どのような姿がふさわしいか、公有財産検討委員会などで協議していきたい。

桜花は戦争の悲惨さ愚かさを示す展示に



用松律夫（共産党）

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載しております。詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

問① 桜花の展示は、どのような解説にするのか。

答 桜花はバカ爆弾と呼ばれていたことは承知している。戦争の悲惨さや愚かさを示す解説になるうかと思う。

問② 小説家の言葉を掲示するところ、百田氏は排除しているか。

答 城山三郎氏と阿川弘之氏を考えている。

問③ 武蔵野市のように最初の空襲の日である3月18日を平和の日として設定してはどうか。

答 現在のところ考えていない。

問④ 自衛隊が海外に出て武力行使が可能になり、若者の命が脅かされるなか、高校生の名簿提供を続けるのか。

答 危険と思えば、他の進路を選択すればよい。

問⑤ TPP大筋合意の影響は、国へ撤回と支援要望を。

答 影響は分らない。

問⑥ はちまんの郷の高齢者の入浴料の助成を。

答 管理を委託しており、交通整理をしてみたい。

問⑦ 市庁舎の地下にある電源の改善を。

答 安全対策を考える。

問⑧ 安心院のメガソーラー施設の杭が途中で切断されたが、安全か。

答 調査して回答する。

問⑨ 国保財政に約6840万円の国の助成が増えるが、軽減につなげるのか。

答 赤字で軽減には至っていない。

問⑩ 小中学校の保護者の公費外負担の解消を。

答 3年間18%予算を増やし標準費用では保護者負担はない。

問⑪ 小中学校の防火施設の点検漏れなどが問題となったが、改善策を。

答 申訳ない。対策を講じている。

問⑫ 国はバリアフリー化を推進しており、早急に宇佐駅にエレベーターの設置を。

答 粘り強く実現を求めていく。

研修報告

「産業建設常任委員会（10/19～21）」

兵庫県西宮市で、西宮バルなど商業振興等について、滋賀県近江八幡市で、新ごみ処理施設の余熱を利用する都市公園の整備、八幡堀等の歴史的建造物・景観の保存等について研修しました。



「文教福祉常任委員会（10/28～30）」

滋賀県大津市で、子ども発達相談事業について、静岡県富士市で、学校給食地場産品導入協議会について研修しました。



《3月定例会の予定》

- 2/23 （開会）提案理由説明
- 3/1、2、3 一般質問
- 3/7 一般質問・議案質疑
- 3/8 常任委員会の審査（文教福祉・産業建設）
- 3/9 常任委員会の審査（総務）
- 3/15 委員会の審査報告
質疑・討論・採決
（閉会）

編集後記



「言葉」について考える時、様々な思いが駆け巡ります。人を傷つけることもあれば、勇気づけることもあり、喜ばすことも出来れば、落胆させることもある。たった一言が人生を変えてしまうことさえあります。特にインターネットの普及によって、大物政治家や有名人の発言でなくとも、多くの人に伝えられ、称賛されたり、多くの場合、いわゆる炎上という批判の嵐にさらされます。今まで以上に「言葉」について敏感にならざるを得ない時代なのかもしれません。ただ、暗い部分だけにスポットを当ててではなく、我々が普段使う言葉、日本語について、改めて考察し、大和言葉の美しさを後世に伝えようとする動きもあります。

日本語は大きく分けて、漢語、外来語、大和言葉から成るそうです。例えば、「感動」という言葉は漢語ですが、大和言葉に換えると「胸に迫る」、「妥協」は「折り合う」、「最高」は「このうえなく」など、より柔らかく、心に響く様な気が致します。

我々、議員は「言葉」を扱う仕事です。今まで以上に「言葉」を大切に、そして、より伝わるように、努めて参りたいと思います。

（後藤竜也）